

Interview

株式会社
ナスカコンピュータ
越村様
伊川様



“ナスカコンピュータとしての人間性を次世代へ伝えていきたい”

● 会社のファンになってもらいたい

企業説明会では、うそ偽りなく全てを正直に話します。1人1人に対してしっかり説明をします。説明会の時間は長いと感じるかもしれませんが、長い人生からすればほんの少しの時間だと思えます。就職は人生の大きな分岐点ですからその時間は必要な時間だと思っています。説明を聞いて本当に応募したくなった人に来てほしい。1番いいのは、会社のファンになってくれる人ですね。まずは、話を聞いてほしいです。

● 会社も本人も全力で

本当にやりたい仕事なのか、やり続けることができるかを聞きます。こちらも全力で育てるけど、本人も全力で来てくれないと仕事はできないですよ。とりあえず未経験でも仕事ができそうだからということだけでは仕事を続けていくのは難しいと思います。企業としてもそういった人を採用するのは不利益だけど、一番不利益を被るのは本人だと思えますね。「10人入社して5人残ればいいや」というものではなく、「10人入社したら10人残ってもらう」。1人1人を大事に育てていく方針です。



営業本部課長
伊川 篤 様



取締役 営業本部長
越村 隆興 様

● 社会で活躍できる人を育てたい

会社をやめたあとも幸せになってほしい、活躍してほしいと思っています。会社で習得した技術が次の転職先で活かされるといいですね。「なんでこんなに優秀な人がナスカコンピュータをやめたの?」と思われるのが一番いい。それくらい優秀な人を育てたいと思っています。

別会社の人間になったとしても、ナスカのビジネスパートナーとなってくれるとありがたいですね。昔こういうところにいたけど、いいところだったなと思ってほしいですね。

● お客様の満足のために、さらに上を目指す

この仕事の魅力は「ものづくり」です。お客様からこのボタンを押したらこういう物が出てくるシステムを作ってほしいと言われたとします。もちろん要望は実現させますが、そのお客様の要望をさらに引き出してもっと上を目指します。「最初これだけのつもりだったけど、ここまでやってくれる」と思ってもらいたい。お客様が満足してくれたらこちらも作ってよかった、というやりがいにつながります。それが余計なお世話という可能性もありますが、お客様と向き合い自信をもって勧めています。

● 会社は独り立ちするまで3年はかかると思っています

社員には語学・法学・海洋学など情報系を専門的に学んでいない人が入社しています。文系、理系は問いません。あえていうなら算数ができたらいいですね。ITに興味があって、面白そうと感じてくれる人、全力でチャレンジしたいと思ってくれる人に来てほしいです。

● オリエンテーションは自由意志。孤立させない、過度に干渉しない

職場外でのオリエンテーションはよくあります。今はコロナ禍で少し難しいですが。以前は家族参加のバーベキューや社員旅行、お酒を飲まない会なども行っていました。全て自由参加です。バーベキューでは社長が肉を焼いて、社員に振る舞い社員の家族も自由参加で和気あいあいと行っています。

また、若い社員、管理職ではない人でも会社に対してモノを言える環境にあります。例えば半日休暇制度導入も若い社員の意見から作られました。

● ユースエール認定はおおきな看板

2016年にユースエール認定企業となった後の合同企業説明会は、新聞に掲載されたユースエール認定企業記事の影響もあり、両親やハローワーク窓口から勧められた方などが沢山来てくれました。

今でも、ユースエール認定企業だからと興味を持ってくれた人が応募してくれています。

● 若い人に技術と人間性を継承していきたい

これから会社としては「技術」だけではなく「人間性」を継承していきたいですね。今まで培ってきた技術を若い人に伝えていくのはもちろんですが、ナスカコンピュータとしての人間性を次世代へ伝えていきたいです。会社としての責務だと思っています。

● 自分がしたいことを手伝ってくれる会社を選んでほしい

企業を選ぶときには企業の看板だけで決めるのではなく、自分の人生で何をしたいかを含めて、それを手伝ってくれるような会社を決めてほしいと思っています。色々な企業説明を聞いて、本当に自分に合う会社かを判断してくれるといいですね。そしてチャレンジしてほしいと思っています。ナスカコンピュータの説明会に来てください。

